

平成29年度 議会運営委員会行政視察報告書

平成29年5月23日（火）

議会運営委員 杉山 智騎

1. 視察日程

平成29年5月17日（水）～5月18日（木）

2. 視察先及び視察内容

- (1) 和歌山県和歌山市
議会運営について
- (2) 奈良県奈良市
議会活性化の取り組みについて

3. 視察内容

■議会運営について

5月17日（水） 13:15～

i) 和歌山県和歌山市

人口 36.4 万人、面積 210 k m²

紀伊半島の北西部に位置し、北はみどり豊かな和泉山脈ののどかな山並みに囲まれ、西は風光明媚な紀淡海峡に面し、紀の川の河口に位置しており、面積は 210.25 平方キロメートル。

気候が温暖であり雨量も少なく、いわゆる瀬戸内気候。気温は、平均気温が 17.0 度で、月別では、最も低いのが 2 月で、最も高いのは 7 月。

降水量は、年間 945.5mm で、おおむね冬に少なく夏に多い。また、平均湿度は、64%と比較的低く、四季を通じて温暖な気候に恵まれている。和歌山市は明治 22 年 4 月 1 日に市政を施行して以来、和歌山県の県都として政治、経済、文化の中心的な役割を担ってきた。また、関西国際空港まで約 30 分と至近距離にあり、世界に近い中核市でもある。



ii) 議会運営について

代表質問（H7.2月定例会から開始）

開催日 2月定例会 1日間

通 告 定例会初日の午後5時15分

質問時間 1会派20分+所属議員1人当たり1分を加算（答弁時間は含まない）
発言順序 大会派順
関連質問 認めていない

一般質問

開催日 毎定例会 おおむね4日～5日間
通 告 開会日初日の午後5時15分
質問時間 時間制限なし
回 数 3回まで（一括質問、一括答弁）
発言順序 通告順
関連質問 認めていない
反問権 認めていない

本会議の傍聴

個人

→住所、氏名、年齢を傍聴人受付簿に記入

団体

→代表者又は責任者が団体の名称及び傍聴する者の住所、氏名、年齢を傍聴人受付簿に記入

※本年度から傍聴規則の見直しに取り組む



iii) 所感

議会活性化の取り組みとして、市議会初の議員提案政策条例制定を行なった。「みんなで取り組む災害対策基本条例」「みんなでとりくむ生き生き健康づくり条例」の2条例。条例制定へ向けて、まず協議会を立ち上げてテーマを選定した。その、テーマ選定方法が非常に興味深かった。テーマを選定する方法は各議員からのプレゼンテーションを行い、2つのテーマに絞り、そこから協議して、まずは災害対策へ着手した。プレゼンの内容も「テーマの選定理由」「必要性やその背景」「他都市の状況」「法令や条例との関連」「参考資料の提出」など。実際にそのプレゼンの状況は見れなかったが、とてもエネルギー的なものになったと実感しました。素案を作成するときも水面下で様々な交渉や情報交換があったとのことだが、議会全体で勉強会を開催したり、危機管理局との意見交換を行ない、先進市への視察も行なった。そして、全会一致にて可決したところからも議



会全体、議員全員で条例作成へ取り組んだものとなったと感じた。岡崎の議会も超党派で岡崎のための条例制定を行なうために議論を重ねる必要を改めて感じました。

■議会活性化の取り組みについて

5月18日（木） 10:00～

i) 奈良県奈良市

人口 36 万人、面積 277 k m²

奈良市は明治 31 年 2 月 1 日、人口 29,986 人で市制が施行され、その後、明治 42 年には現在の奈良女子大学が創立され、奈良市は県郡として政治、文化、交通の中心地として発展した。奈良市は、戦後、日本文化のふるさととして多くの観光客を受け入れるようになり、奈良の持つ文化的、観光的価値を将来に活かしていく目的で、昭和 25 年には国際文化観光都市を宣言し、近代都市を目指すともに、隣接町村との合併を行ない、観光都市としての性格を備える一方、京阪神のベッドタウンとして市西部や北部に近代的な住宅団地が次々と建設され、人口は急激に増加した。市政 100 周年に当たる平成 10 年には、「古都奈良の文化財」として 8 資産群がユネスコの世界遺産に登録された。



ii) 議会活性化の取り組みについて

・議会制度検討特別委員会

議会制度全般にわたり調査・検討をおこなうため、12 名の委員により構成される議会制度検討特別委員会が、平成 23 年 7 月に設置された。この委員会の中で、「議会基本条例」の制定や「奈良市議会議員の政治倫理に関する条例」の見直しなどについて検討されている。



・文書質問票、文書質問回答票

議員は、奈良市議会基本条例の規定に基づき、文書で質問を行ない、文書による回答を求めることができ、市長等は、質問を受けたときには、速やかに回答しなければならない。

・議会報告会

市議会は平成 25 年 3 月、議会基本条例を制定した。その前文に「議会は、市民に開かれた、分かりやすい議会であり、かつ、信頼される議会として、情報公開や説明責任を積極的に果たすことに努めなければならない」とし、第 12 条第 1 項では、「議会は、市民の意思を議会活動に反映することができるよう、市民の議会活動に参画する機会の確保に努める

ものとする」として、議員全員の参加による議会報告会を開催するものとしている。

・政策条例制定への取り組みについて

周囲を考慮せずに行われる動物への餌やり等により、良好な生活環境が脅かされる事例への対策として、今定例会に提案を予定していた「市良好な生活環境の確保に関する条例」（素案）の骨子に対し、市民の意見を反映すべく、2月6日～26日に意見募集（パブリックコメント）を行なった。募集意見を立案の参考とし、動物をカラスに限定した「市カラスによる被害の防止及び良好な生活環境を守る条例」として提出した。

iii) 所感

日経グローバルの2014年の議会改革度ランキングにおいて11位であった奈良市はさすがに議会改革に積極的でした。広報公聴委員会にて議会報告会について議論して議会報告会を開催した。約50～80名の参加で非常に熱を帯びた報告会となった。新火葬場建設が大きな議題となった回には質問が殺到し、同様な質問はまとめて回答を行なったり、例外的に各会派毎に意見報告を行なった。臨機応変に対応し、市民が求めていることに応じていく姿勢は岡崎市も見習わないといけない。そして、議会報告会をUPしたHPはアクセス数も100を超える市民のみなさんの関心度の高さにも脱帽した。また、ICT化も進んでおり、ペーパーレス化や効率化を求め、iPadを導入した。時代の流れも抑えている。企業でも効率化を求めているので、行政は当然のことながら効率化は進んで行くべきである。先進事例を学ぶことでやらないといけないことや、やるべきことが浮き彫りになってくる。岡崎市も議会改革も行政改革も行なっているが、もっと積極的に、もっとスピーディに行なっていかなければいけないと危機感を覚えた、実りある視察でした。

